

令和 7 年度 地下水の水質測定結果の概要

(令和 8 年 2 月現在)

1. 地下水における水質測定

(1) 概況調査

県内の全体的な地下水質の状況を把握するため、92 メッシュで、全ての環境基準項目を調査

環境基準項目・・・28項目

・自然界に存在する物質（9項目）

カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、フッ素、ホウ素

・自然界に存在しない物質（19項目）

全シアン、アルキル水銀、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、クロロエチレン、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、1,4-ジオキサソ

(2) 汚染井戸周辺地区調査

概況調査等により新たに発見された汚染井戸の周辺において、汚染範囲の確認と原因究明を行うための調査

【汚染井戸周辺地区調査を行う状況】

- ・自然界に存在する物質：環境基準を超えた場合
- ・自然界に存在しない物質：検出された場合

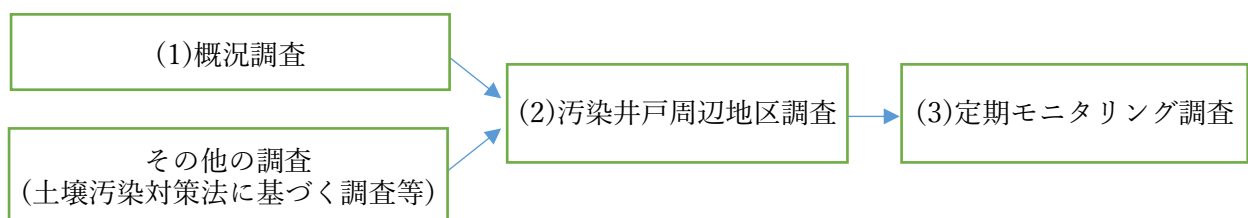
(3) 定期モニタリング調査

概況調査、汚染井戸周辺地区調査で汚染が確認された井戸における地下水の状況を継続的に監視するための調査

【次の状況が確認できるまで定期モニタリング調査を継続】

- ・自然界に存在する物質：環境基準の70%以下の濃度が3年間継続した場合
- ・自然界に存在しない物質：不検出が3年間継続した場合

2. 地下水の水質調査のイメージ



3. 令和7年度 水質測定結果の概要

(1) 概況調査

項目		区分	調査 井戸数	環境基準以下		環境基準 を超過
				不検出	検出	
自然界に存在 する物質	鉛		75	73	2	0
	ヒ素			68	5	2
	フッ素			46	29	0
	ホウ素			69	5	1
	硝酸性窒素及び亜硝酸性 窒素			18	56	1
	その他4項目			75	0	0
自然界に存在 しない物質	トリクロロエチレン		74	0	1	
	テトラクロロエチレン及び 1,1,1-トリクロロエタン		74	1	0	
	上記以外の揮発性有機塩素化合物※1 その他項目		75	0	0	

※1 揮発性有機塩素化合物：ジクロロメタン、四塩化炭素、クロロエチレン、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン

(2) 汚染井戸周辺地区調査

項目		区分	調査 井戸数	環境基準以下		環境基準 を超過
				不検出	検出	
概況調査で 環境基準を超過	ヒ素(2地点)		7	3	0	4
	ホウ素(1地点)			周辺に調査可能井戸なし		
	硝酸性窒素及び亜硝酸 性窒素(1地点)		5	0	4	1
	トリクロロエチレン (1地点)		7	6	1	0
概況調査で 環境基準以下で 検出	テトラクロロエチレン (1地点)		16※	4	12	0
	1,1,1-トリクロロエタン (1地点)		16※	12	4	0
その他の調査で 汚染判明 (事業者の 自主調査)	鉛(1地点)		1	1	0	0
	六価クロム(1地点)		4	4	0	0
	テトラクロロエチレン (1地点)		8	5	3	0

※ 令和7年度に定期モニタリング調査を実施した11井戸を含む

(3) 定期モニタリング調査

項目	区分	調査 井戸数	環境基準以下		環境基準 を超過
			不検出	検出	
自然界に存在 する物質	ヒ素	33(28)	3(3)	4(4)	26(21)
	総水銀	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
	フッ素	9(9)	1(1)	0(1)	8(7)
	ホウ素	2(1)	0(0)	1(0)	1(1)
	硝酸性窒素及び亜硝酸 性窒素	2(2)	0(0)	2(2)	0(0)
自然界に存在 しない物質	揮発性有機塩素化合物	79(80)	12(10)	62(65)	5(5)

○ 括弧内の数値は、令和6年度の調査井戸数